

No.	項 目
1	P.（ ）番号（ - ）担当課（人権政策課） 全体的にさまざまな角度から人権問題をとらえられて取組みを展開されていることが理解できました。効果や課題に示されているように、人の価値観は異なるので、すべての差別・偏見を完全に解消することは不可能だと思います。しかし、現在取組まれているような差別・偏見が生じていることの理解を深めることで、差別・偏見意識に対する意識が高まることから、評価を何にするかが重要だと考えます。講演会や研修会だけでなく、日常的に刺激があることが無意識に働きかけていくと思いますので、ロアッソとの連携やテレビでのCMなどによる情報発信と各担当で記載されている対応方針と対応策を継続して実践していただくことを強く希望いたします。
2	P.（3）番号（01-02）担当課（人権政策課ふれあい文化センター） P.（11）番号（02-06）担当課（保育幼稚園課） P.（16）番号（02-11）担当課（人権教育指導室） P.（18）番号（02-13）（20-31）担当課（教育センター） P.（21）番号（03-02）担当課（河内交流室・河内公民館） P.（24）番号（04-03）（20-01）担当課（人事課人材育成センター） P.（26）番号（04-05）担当課（障がい福祉課） P.（28）番号（04-07）担当課（障がい福祉課） P.（41）番号（05-02）（20-18）担当課（城南交流室・城南公民館） P.（43）番号（05-04）（20-30）担当課（人権教育指導室） P.（52）番号（07-04）担当課（人権教育指導室） P.（62）番号（08-09）担当課（北部まちづくりセンター・公民館） P.（65）番号（09-01）担当課（健康福祉政策課） P.（69）番号（09-05）担当課（人権教育指導室） P.（75）番号（12-03）担当課（西部まちづくりセンター・公民館） P.（101）番号（20-17）担当課（天明まちづくりセンター・公民館） P.（112）番号（20-28）担当課（人権教育指導室） 講演会などが実施されているにも関わらず対象経費が0となっている事業がありますが、経費はどこからでているのでしょうか。
3	P.（1）番号（01-01）担当課（男女共同参画課） 実績の①DV相談の中央区がほかに比べて極端に少ないのですが、少なかった理由として何が考えられますか。
4	P.（3）番号（01-02）担当課（人権政策課ふれあい文化センター） ふれあい文化センターの出前講座の具体的な周知方法を教えてください。
5	P.（83、84）番号（19-01）（19-02）担当課（こころの健康センター） 当事者の支援は欠かせない重要事項だと考えます。残存する課題にあげられていますが、今後、地域住民の理解を深めるような取組としてどのようなものが予定されているのでしょうか。
6	P.（1）番号（01-01）担当課（男女共同参画課） 配偶者からの暴力と表記してあるが、DV被害の状況を鑑みると、配偶者とは限らないと思われる。「配偶者等」という表記にしてはどうか？ また、相談時間が日中になっている。悲しい事件に発展しないように、何かしらの相談体制がとれるといいのではないかと。留守番電話で、緊急の相談先を知らせるといった手立ては考えられないだろうか？
7	P.（29）番号（04-08）担当課（障がい福祉課） 障がい者に対する理解促進を図るために、作品募集をされている。「応募数を増やすために周知の方法に工夫が必要」と課題に記されているが、学校への作文やポスター（絵画）、習字などの募集依頼は、かなりの量である。特に、夏休み期間を利用するものが多い。今後も、応募作品が増えることは難しいと考える。
8	P.（46）番号（06-01）担当課（国際課） 学校にも外国籍の児童や日本語習得が必要な児童が在籍している。今後、台湾をはじめ、外国の企業参入が増えると予測されているため、ますます対応が必要になってくる。児童・生徒だけでなく、外国人に対しての理解を深めることが大事になってくるのではないかと。また、外国人の方が安心して生活できるような手立ても必要だとと思われる。
9	P.（9）番号（02-04）担当課（保育幼稚園課） コロナ感染予防に配慮し、オンライン研修が多く計画され、移動時間をとられることなく集中して研修を受ける事が出来ました。このように受講しやすいオンライン研修が計画されるのは、ありがたいと思います。 一方で受講者同士が意見交換でき、お互いの考え方や、子どもの思いを共有できる研修の場というものも成長できる機会であると考えます。
10	P.（11）番号（02-06）担当課（保育幼稚園課） ヤングケアラーについてニュースの情報番組でも子どもの実態が報じられ、その実態を知り心を痛めておりました。折よく保育幼稚園課の人権研修会のテーマにあげられ、しっかりと学ぶことができました。今回学んだことを職員間で共有し、保護者支援から子ども支援へと繋げていくことを目指したいと思います。

No.	項 目
11	P.（77）番号（13-01）担当課（西部まちづくりセンター・公民館） SNSの誹謗中傷などの人権侵害が大きな問題となっている中、インターネットに関わる研修が、中学生を対象に開催されました。このような研修が更に広く行われ、小中学生の望ましい人権意識が確立されていけばと思います。 更に多くの幼稚園、保育園、小学校の保護者と小学校高学年児童、中学校、高等学校の生徒、社会人を対象に出前講座を含む講演会などで社会全体の人権意識の向上につなげていくことを願います。
12	P.（78）番号（13-02）担当課（飽田まちづくりセンター・公民館） SNSの誹謗中傷などの人権侵害が大きな問題となっている中、インターネットに関わる研修が、中学生を対象に開催されました。このような研修が更に広く行われ、小中学生の望ましい人権意識が確立されていけばと思います。 更に多くの幼稚園、保育園、小学校の保護者と小学校高学年児童、中学校、高等学校の生徒、社会人を対象に出前講座を含む講演会などで社会全体の人権意識の向上につなげていくことを願います。
13	P.（19）番号（03-01）担当課（高齢福祉課） 高齢者に関する人権問題に関して、昨年質問させていただいた認知症サポーター養成事業について、実績・効果等具体的にお知らせください。
14	P.（7）番号（02-02）担当課（こども家庭福祉課） 児童虐待に関する痛ましいニュースが昨今も減ることなく報道され、児童虐待に関する相談件数も、まだ増加しているようです。 このような中での啓発活動は、より重要度が増していると思いますので、今後も維持・拡大を希望します。特に熊本ヴォルターズホームゲームでの啓発活動のようにスポーツイベントでの啓発活動は、児童虐待に関心がある方々への情報提供の場としては、非常に効果的と思われますので是非とも継続を希望いたします。
15	P.（50）番号（07-02）担当課（男女共同参画課） つい先日、トランスジェンダーの方の女性トイレの使用制限に関する最高裁判決が出たところであり、性的マイノリティに関する人権問題の議論が今後もさらに深まっていくように思います。 最高裁判決により関心を持たれた市民の方々がいらっしゃると思いますので、今後もより効果的な啓発事業の継続を希望いたします。
16	P.（73）番号（12-01）担当課（生活安全課） P.（74）番号（12-02）担当課（東部まちづくりセンター・公民館） P.（75）番号（12-03）担当課（西部まちづくりセンター・公民館） P.（76）番号（12-04）担当課（北部まちづくりセンター・公民館） 令和4年度人権教育・啓発に関する施策・事業実施状況報告書から、犯罪被害者やその家族・遺族のおかれている状況や地域における支えあいの必要性について、NPO法人身近な犯罪被害者を支援する会理事長水口正洋氏の講演会を企画、実施されたり、公益社団法人くまもと被害者支援センターとの共催により啓発パネル展やシンポジウムの開催等、幅広く企画、実行されていることをたいへん心強く思っております。 「犯罪被害者等（家族・遺族を含む）の声を聴く」講演会等の企画が単発で終わらず、犯罪被害者週間（11月25日から12月1日まで）等で定期的に行われることを希望します。 また、犯罪被害者等支援のための特化条例の整備とそれらに基づく具体的な支援策の充実に期待しております。
17	P.（1）番号（01-01）担当課（男女共同参画課） DV相談実績で中央区が他に比べて件数が突出して少ないが、これは男女共同参画相談室への相談に吸収されたと考えてよろしいか。
18	P.（3）番号（01-02）担当課（人権政策課ふれあい文化センター） 母子生活支援施設がDV被害者の受け皿でもあることを考えると、市と施設が連携して人権意識を高める研修は重要と思われる。熊本市社会福祉施設連合会としてもこのような取り組みを紹介し、施設の人権啓発の一助としたい。
19	P.（4）番号（01-03）担当課（東部まちづくりセンター・公民館） 女性の地位向上や活用が叫ばれる昨今、このような肥後の猛婦の検証は意義あるものと思われる。継続を望みます。
20	P.（5）番号（02-01）担当課（こども支援課） 虐待の定義、特に基準が厳しくなる中で、これまでの自分たちの保育の振り返りと気づきのために市と連携した研修が新たに必要であると思う。
21	P.（11）番号（02-06）担当課（保育幼稚園課） ヤングケアラー自身が、自分が該当者であることを知らない、わからない事例がある。ヤングケアラーのますますの周知徹底が望まれる。
22	P.（73）番号（12-01）担当課（生活安全課） 犯罪被害者と同様、犯罪加害者家族にも同様の差別、偏見が見られる。犯罪被害者等の「等」の中には加害者家族も含まれるのだろうか。

No.	項 目
23	P.（77）番号（13-01）担当課（西部まちづくりセンター・公民館） 虐待報道問題で、一方的な報道により施設職員も不安におののき、また守るべき子どもたちへの養育にも影響が出た。メディアの報道の自由は歯止めが効かないのではないかと思います。
24	P.（26）番号（04-05）担当課（障がい福祉課） 支援者が、虐待について学ぶことはとても大切です。 虐待が起こる背景として、人手不足等により職員を支えてくれる人がいなかった孤独感やストレスがあるかもしれません。残存課題に書いてあるとおり、報連相の体制を整えることが必要だと思います。 虐待が起きたときには迅速な対応が求められるので通報義務がありますが、特に自分の職場の問題だと通報する勇気が出ない人もいることが考えられます。通報の前に一旦相談できる、事業所から独立した第三者機関があると、より多くの問題事例が表に出てきやすくなるのではないかと思います。
25	P.（31）番号（04-10）担当課（秋津まちづくりセンター・公民館） 盲導犬が入店拒否されるという残存課題について。 私は車いすで生活しているので車椅子で入店しています。入店拒否されたことはないですが、特に小物雑貨や割れやすい製品を取り扱っている店舗では、車体が商品にぶつかってしまうのではないかと少し店員さんが不安そうに見えることがあります。 盲導犬の場合も同じように、うっかり盲導犬が店頭の物を壊してしまう等、商売上店側の損害を心配している可能性があるかもしれません。補助犬法の周知を進めていくと同時に、この制度を使える、ここが保証する等、店舗側が安心できる何らかのシステムがあると受け入れ態勢も広がっていくのではないかと思います。
26	P.（46）番号（06-01）担当課（国際課） 留学生のネットワークだけでなく情報発信にもFacebookを使っているのかなと思いますが、個人的な感覚では若い世代（10～20代頃）でFacebookを利用している人は少ないので、他のSNSも活用するともっと幅広い世代の留学生等に届くのではないかと思います。
27	P.（1）番号（01-01）担当課（男女共同参画課） DV被害相談件数が毎年増加傾向にあるのは、体制の強化なのか、また今の社会情勢の影響なのでしょう。DV被害も、デートDVなど若い世代の問題や女性に限らず問題が多様化していると感じます。 また、DVを受けた本人が子どもへの虐待など負のスパイラル現象にもつながっているように思えます。このような事態が少なくなるような、啓発や支援など対策をお聞きしたいです。
28	P.（28）番号（04-07）担当課（障がい福祉課） サポーターの研修を受講することにより、障がいのある方について理解が深まることは、とてもよいことだと思います。 受講された方は、その知識を日常生活にどのような形で活用されていらっしゃるのかを知りたいです。 障がいのある方が実際ヘルプが必要な時に声をかけやすいようサポーターが分かるようなもの（ヘルプカードのサポーター版的なもの）はあるのでしょうか。
29	P.（45）番号（05-06）（07-05）（20-33）担当課（熊本市立必由館高等学校） 昨年度と比べ実施回数も増加し内容の充実を感じました。これからも続けていただきたい取り組みであると思います。 10の残存する課題にLGBTQに関する記載がありました、今、様々な面で大きな課題を抱えていると考えております。課題や学校での今後の具体的な取り組みなどあればお聞かせください。
30	P.（46）番号（06-01）担当課（国際課） 大企業が熊本に進出し経済の活性化につながることはとても喜ばしいことです。また、それに伴い在住外国人も増えると考えられます。自分が住んでいる地域でも、TSMCの会社に近く社宅の増設や整備などが行われています。 これから、熊本市において増えるであろう在住外国人の方が、安心・安全に地域に溶け込める生活がおくれるような受け入れに対する体制や支援、取り組みなどの対策があればお聞きしたいです。 ※子どもたちは、学校へ行き多くの人と触れ合う機会がありますが、家に残る家族の孤独さが問題になり、文化の違いが受け入れられない時があるという意見も聞きます。

No.	項 目
31	P.（54）番号（08-01）担当課（人権政策課） P.（55）番号（08-02）担当課（大江交流室・大江公民館） P.（56）番号（08-03）担当課（秋津まちづくりセンター・公民館） P.（57）番号（08-04）担当課（託麻まちづくりセンター・公民館） P.（58）番号（08-05）担当課（東部まちづくりセンター・公民館） P.（59）番号（08-06）担当課（西部まちづくりセンター・公民館） P.（60）番号（08-07）担当課（南部まちづくりセンター・公民館） P.（61）番号（08-08）担当課（北部まちづくりセンター・公民館） P.（62）番号（08-09）担当課（北部まちづくりセンター・公民館） P.（63）番号（08-10）担当課（北部まちづくりセンター・公民館） P.（64）番号（08-11）担当課（指導課） 令和4年度に水俣病に関する人権問題への取り組みが数年ぶりに多かったのは、コロナ禍が少し落ち着き日常を取り戻したためでしょうか。水俣病の事を語り続けていく事はとても大切だと考えております。 残存する課題の中に水俣病への偏見や差別意識の解消（08－07）差別意識を如何に拐取してゆくのかと記載がありました。（08－08 09）対象が、小学生や保護者という比較的若い世代の方でも今だそのような考えを持っているのか、と思い愕然としました。参加され方の具体的な意見をお聞きたいです。また、これからの対応策などあればお聞かせください。
32	P.（1）番号（01-01）担当課（男女共同参画課） DV相談件数で中央区は8件ですが、他の区（東・西・南・北）と比べて極端に少ない理由を教えてください。また、DV相談を受けた後の当事者への手当てやその後の対応はどのようになっているのか教えてください。
33	P.（46）番号（06-01）担当課（国際課） 外国人が生活や住居等で抱えている様々な相談に対応していらっしゃると思いますが、地域で生活している住民にも外国人がどんなことで悩んでいるかを伝えることにより、お互いの人権を大切に地域住民として共に生活していくことができるのではないかと思います。